チーム -5 の作業スケジュール	6(金)	7(土)	8(日)	9(月)	10(火)	11(水	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	プロジェクトに関するその他の情報
																				チーム 5 メンバーと役割:
マイルストーン、チームの役割、リスク管理計画を定義する																				1.日本人コミュニケーション : アマンヴェルマ
																				2.プロダクトマネージャー:ディーパック テイラ
データセットの収集 機能開発 (コーディング、設計、プロトタイピング)																				3. データサイエンティスト : クマール ウメシュ 4. ソフトウェアエンジニア :ユーワン ソニ
																				4. ソフトウェアエンシーア:ユーソン ノー 4. ソフトウェアエンジニア:ソメシュヴァリヴラ-ジ
																				5. テストエンジニア: アマンヴェルマ
コードのフリーズと統合の開始																				
内部レビューと品質保証 (QA) が開始されます																				プロジェクト名 :輸送コストの最適化とルート計画
QAの開始(単体テスト、結合テスト)																				
インターフェースデザイン																				
最終的なバグ修正とコードの改善																				
ドキュメント (リリースノート、ユーザーマニュアルなど)																				
導入計画の最終決定 (バックアップ、ロールバック戦略)																				
紹介された製品																				
最終ドキュメント																				

チーム - 5 プロジェクトタイムスケジュール

チーム 5 メンバーと役割:

- 1. 日本人コミュニケーション : アマンヴェルマ
- 2. プロダクトマネージャー:ディーパック テイラー
- 3. データサイエンティスト: クマール ウメシュ
- 4. ソフトウェアエンジニア: ユーワン ソニ
- 4. ソフトウェアエンジニア:ソメシュヴァリヴラ-ジ
- 5. テストエンジニア: アマンヴェルマ

プロジェクト名:

輸送コストの最適化とルート計画

- マイルストーン、チームの役割、リスク管理計画の定義:
 - 12月6日 ~ 12月8日
 - ▶ 明確なプロジェクトマイルストーンの設定: 進捗を追跡し、プロジェクトの勢いを効果的に維持するために、具体的なマイルストーンを定義します。
 - ▶ チームの役割の割り当て: チームメンバーに明確な役割と責任を割り当て、明確さとアカウンタ ビリティを確保します。
 - ▶ リスク管理戦略の策定: 潜在的な課題を積極的に特定し、それに対応するための計画を作成します。
- データセット収集 :
 - 12月8日 ~ 12月9日
 - ▶ 関連データセットの収集: 交通コストの最適化とルート計画に必要な高品質のデータを収集します。
 - データの精度確認: 意思決定をサポートするために、データセットの精度と信頼性を確認します。
 - データの完全性確認: 効果的なモデル訓練と分析を促進するために、必要なすべてのデータポイントが含まれていることを確認します。

● 機能開発(コーディング、デザイン、プロトタイピング):

ソフトウェア言語: Python, Pytorch, Tensorflow, Scikit-learn

ソフトウェアパッケージ: Jupyter notebook, Google Collab, Google OR tools

■ 12月9日 ~ 12月12日

- ▶ コア機能の開発: 主な機能のコーディングを開始し、ユーザーニーズに応じた使いやすさと機能性を確保します。
- ▶ デザインとプロトタイピング: 直感的なデザインを作成し、コンセプトを検証するためにプロトタイプを構築します。

● コードフリーズ & 統合の開始 :

- 12月13日 ~ 12月15日
 - ▶ 機能開発の最終化: すべての機能の開発を完了し、コードベースを安定させるためにフリーズします。
 - **▶ 統合:** 様々なソフトウェアコンポーネントを統合し、スムーズな相互作用を確保します。
- 内部レビュー & 品質保証 (QA) の開始 :
 - 12月16日 ~ 12月17日
 - ▶ 内部レビュー: 徹底的な内部評価を通じて、ソフトウェアのパフォーマンスを検証します。
 - ▶ 品質保証テスト: 単体テストや統合テストを含む QA プロセスを開始し、早期にバグを発見して 対応します。
- QA の開始(単体テスト、統合テスト) :
 - 12月17日 ~ 12月19日
 - 冷値底的なテスト:個々のコンポーネントを検証するために単体テストを実施し、相互運用性を確保するために統合テストを行います。
 - ▶ 問題の解決: テストプロセスで発見された問題を特定し、対応します。

- インターフェースデザイン :
 - 12月19日 ~ 12月20日
 - ▶ 視覚的魅力の向上: ユーザーインターフェースを洗練させ、魅力的なデザインを作成します。
 - ▶ 使いやすさの向上: インターフェースがユーザーフレンドリーで直感的であることを確認し、スムーズな操作を実現します。
- 最終的なバグ修正とコード改善:
 - 12月21日 ~ 12月23日
 - ▶ 重大なバグの修正: すべての主要な問題を解決し、ソフトウェアが意図通りに機能することを保証します。
 - ▶ パフォーマンスの最適化: システムのパフォーマンスと安定性を向上させるためにコードを改善します。
- ドキュメンテーション(リリースノート、ユーザーマニュアルなど) :
 - 12月22日 ~ 12月23日
 - ▶ リリースノートの作成:製品の機能や更新内容をユーザーや関係者に通知するための詳細なリリースノートを作成します。
 - ▶ ユーザーマニュアルの作成: ユーザーが製品を効果的に理解し、使用できるように包括的なユーザーマニュアルを作成します。
- デプロイメント計画の最終化(バックアップ、ロールバック戦略) :
 - 12月22日 ~ 12月23日
 - ▶ デプロイメント計画の作成: 製品の円滑なローンチのために詳細なデプロイメント計画を作成します。
 - ▶ バックアップとロールバック戦略の実施: リスクを軽減し、問題が発生した場合の迅速な回復を確保するために、バックアップとロールバック手順を含めます。

● デプロイされた製品 :

■ 12月23日 ~ 12月24日

- ▶ 最終製品のローンチ: 製品をリリースし、すべての機能と機能が完全に動作していることを確認します。
- ▶ 要件の確認: 最終製品が指定されたすべての要件とユーザーの期待に合致していることを確認します。

● 最終ドキュメンテーションとプレゼンテーション:

■ 12月24日

- ▶ ドキュメンテーションの完了: すべての残りのドキュメンテーションタスクを完了し、プロジェクトの詳細な記録を確保します。
- ▶ 将来のメンテナンスのための文書作成: 将来の参照、更新、メンテナンスのために詳細なドキュメントを提供します。